

暴風雪 にご用心!!

毎年、全道各地で大規模な暴風雪が発生しています。昨年度には、長期間・広範囲にわたる停電が起きたり、多くの死傷者が出る災害にまで発展しました。被害を抑えるためにも、日頃の心構えや備えを確認しましょう。

写真提供: (独)土木研究所 寒地土木研究所

暴風雪のどこが**怖い**の？

2013年3月、道東地方を中心に北海道全域を襲った暴風雪は、死者9人という大きな被害を発生させました。主な死亡理由として挙げられるものには「**一酸化炭素中毒死**」と「**凍死**」の2つがあります。

一酸化炭素中毒死



猛烈な風と雪によってできた吹きだまりで車が動けなくなることがあります。車中で救助を待つ間に排気口が埋まると、排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を引き起こします。

凍死



暴風雪の際、ひどい時には視界全てが雪で真っ白に覆われる「ホワイトアウト」と呼ばれる現象が起き、方向感覚を失ってしまいます。最悪の場合、遭難してしまい、凍死に至る恐れがあります。

できるだけ外出しない

暴風雪は地震や洪水と違い、建物内にいれば人への被害のほとんどを防ぐことができます。

ポイント

- ・気象情報をこまめに確認しましょう。
 - ・暴風雪が予想される場合は外出を避けましょう。
- ※気象情報はテレビやラジオ、天気予報電話サービス【市外局番+177】などで確認できます。

